

平成 28 年度 全学共通科目に関する調査（学生対象）

調査概要 全学共通科目のうち，“四国大学スタンダード”の修得に向けた導入授業科目である「社会人基礎力入門」，「初年次ゼミⅠ」，「初年次ゼミ」，「自己と社会・地域論」，「初年次ゼミⅡ」の5科目について，学生の学修達成度を把握することを目的とした調査を実施した。調査では，1回目授業時（教育前）と15回目授業時（教育後）で同一の調査用紙を使用することにより，教育前後の比較を行った。

調査時期 前期調査：2016年4月（1回目授業），2016年7月（15回目授業）
後期調査：2016年10月（1回目授業），2017年1月（15回目授業）

調査対象 大学1年生（「初年次ゼミⅠ」「社会人基礎力入門」「初年次ゼミⅡ」「自己と社会・地域論」）
短期大学部1年生（「初年次ゼミ」「社会人基礎力入門」「自己と社会・地域論」）

調査内容 科目ごとにシラバスの到達目標に基づく21～33項目の設問を設定し，学生自身に「あてはまらない」（1），「あまりあてはまらない」（2），「どちらともいえない」（3），「ややあてはまる」（4），「あてはまる」（5）の5段階のいずれかを選択させた。項目ごとに5段階評価の平均を求め，教育前後で比較した。

「社会人基礎力入門」 ①基礎学習力や社会人マナーについて（17項目）
②情報リテラシーについて（8項目）

「初年次ゼミⅠ」 ①大学生活の心構えについて（9項目）
②ノートテイキングやリーディングについて（4項目）
③情報収集について（3項目）
④レポート小論文などの文章技法について（5項目）

「初年次ゼミ」 ①大学生活の心構えについて（9項目）
②ノートテイキングやリーディングについて（4項目）
③情報収集について（3項目）
④レポート小論文などの文章技法について（5項目）
⑤プレゼンテーションの基礎技法について（4項目）

「自己と社会・地域論」 ①あなた自身について（18項目）
②地場産業について（4項目）
③地域活動について（5項目）
④企業・組織の仕組みについて（4項目）
⑤グループディスカッションについて（2項目）

- 「初年次ゼミⅡ」
- ①プレゼンテーションやディスカッション、ディベートについて（7項目）
 - ②グループワークについて（7項目）
 - ③情報の扱い方について（4項目）
 - ④あなたが考える将来について（5項目）

調査結果

各科目のアンケート回答者数は下記の通りであった。

科目名	教育前（1回目授業時）				教育後（15回目授業時）			
	男	女	不明	合計	男	女	不明	合計
社会人基礎力入門	161	560	33	754	125	451	60	636
初年次ゼミⅠ	147	404	7	558	140	355	26	521
初年次ゼミ	22	145	0	167	22	136	4	162
自己と社会・地域論	149	510	49	708	140	433	63	636
初年次ゼミⅡ	148	335	26	509	130	324	17	471

結果の概要

「社会人基礎力入門」

〈基礎学習力やマナー〉に関して理解度を問う項目（「～を理解している」）では教育前後の差は顕著ではないか、もしくは低下していた（表1）。特に、重要度の理解（「～の大切さを理解している」）については、授業前から高い値を付ける傾向にあり、明確な教育効果として数字には表れなかった可能性が高い。〈情報リテラシー〉では多くの項目で平均値が高くなり、知識の習得を実感していたといえる。なお、「著作権」に関する項目は低下していた一方で、「サイバー犯罪」に関する項目は大幅に高まっていた。これらは両方とも知識の伝達に関する内容であるため、教育効果の違いというよりは授業前の用語の認識度の差によると考えられる。

「初年次ゼミⅠ」

4項目群のうち、〈レポート小論文などの文章技法〉と〈情報収集〉の項目では教育前後の大きな変化が確認され、多くの学生が習得の実感を得ていたと考えられた（表2）。一方、〈大学生活の心構え〉では9項目中5項目で教育後の平均値が下がっていた。平成27年度調査でも同様の項目が低下しており、目標設定や時間管理については大学内の様々な取り組みや他の授業科目と連動させることにより教育効果を高める方法を考える必要がある。

「初年次ゼミ」

〈レポート小論文などの文章技法〉や〈プレゼンテーションの基礎技法〉の項目では平均値の高まりが見られた（表3）。〈情報収集〉や〈ノートテイキングやリーディング〉でも正方向の変化が確認されたが、授業前から比較的高い値を付ける傾向があり、大きな伸びにはならなかった。〈大学生活の心構え〉では、初年次ゼミⅠと同様に平均値の低下が見られ、前述の通り今後検討していく必要がある。

「自己と社会・地域論」

後半の「地域社会」領域では、教育後に正方向の変化が見られた一方で、前半の「自己」領域では大きな変化がなかった（表 4）。平成 27 年度結果と同様の傾向であり、「自己」領域は回答者の内面的な指標であるため、単一の授業科目で結果が大きく変わるものではなく、変化は緩やかであったことが伺える。

「初年次ゼミⅡ」

全ての項目について教育後の平均値が高くなっていた（表 5）。特に、〈プレゼンテーションやディスカッション、ディベート〉ではほぼ全ての項目で 0.5 以上高くなっていた。授業で実践を通じて学ぶ内容が多く取り入れられており、学生が習得を実感しやすかったと考えられる。

表1. 「社会人基礎力入門」授業前後の自己評価

質問項目	授業前 平均	授業後 平均	教育前後 の差
a. 社会人としての基礎学習力やマナーについて			
社会人に必要な「読む・書く・聞く」という力の大切さを理解している	4.38	4.36	-0.02
社会人に必要な「読む・書く・聞く」という力を持っている	3.02	3.43	0.41
社会人に必要な基礎的な学力の大切さを理解している	4.17	4.22	0.05
社会人に必要な基礎的な学力を身につけている	3.07	3.38	0.31
社会人に必要な道徳観念を理解している	3.90	4.02	0.12
社会人に必要な道徳観念を身につけている	3.41	3.67	0.26
社会人に必要な礼儀やマナーを理解している	4.15	4.24	0.08
社会人に必要な礼儀やマナーを身につけている	3.50	3.67	0.18
社会人として信頼につながる行動があることを理解している	4.25	4.29	0.03
社会人として信頼につながる行動をとることができる	3.48	3.66	0.18
社会人としての身だしなみの大切さを理解している	4.41	4.39	-0.02
状況に応じた適切な話し方があることを理解している	4.32	4.29	-0.03
状況に応じた適切な話し方ができる	3.58	3.69	0.11
正しい敬語の使い方を理解している	3.68	3.85	0.16
正しい敬語がつかえる	3.27	3.36	0.09
他人に対する気配りの大切さを理解している	4.43	4.36	-0.07
他人に対する気配りができる	3.83	3.88	0.05
b. 情報リテラシーについて			
様々な情報収集の方法を知っている	3.71	4.06	0.35
時代による情報収集環境の変化を理解している	3.78	4.08	0.29
目的に応じて情報を取捨選択する必要性を理解している	3.85	4.06	0.21
情報の信頼性を検証する大切さを理解している	3.99	4.12	0.13
ネット以外の有用な情報源を知っている	3.50	3.89	0.39
ネット以外の情報源の利点と弱点を理解している	3.59	3.97	0.38
サイバー犯罪とは何かを知っている	3.42	3.97	0.55
著作権とは何かを知っている	4.19	4.18	-0.01

表2. 「初年次ゼミ」授業前後の自己評価

質問項目	授業前 平均	授業後 平均	教育前後 の差
a. 大学生活について			
高校生活との違いを理解している	4.50	4.57	0.07
大学生活が充実するよう心がけている	4.35	4.18	-0.17
大学生活での具体的な目標がある	4.15	3.96	-0.20
目標に向けて具体的に行動している	3.49	3.40	-0.09
時間管理の重要性を理解している	4.23	4.19	-0.04
有効な時間の使い方を心がけている	3.76	3.61	-0.15
自分なりの学習習慣がある	3.02	3.11	0.09
学科をこえて、人間関係を築いている	3.40	3.73	0.33
大学での学びが社会とつながっていることを理解している	4.11	4.14	0.03
b. ノートテイキングやリーディングについて			
自分なりに工夫してノートを作っている	3.40	3.49	0.09
講義中は要点をつかんでノートを取ることができる	3.25	3.31	0.07
リーディングについての基本的なスキルを理解している	3.05	3.42	0.36
話の中心を把握して文章を読むことができる	3.26	3.50	0.24
c. 情報収集について			
積極的に情報を得るように心がけている	3.64	3.66	0.02
様々な情報収集の方法を知っている	3.36	3.86	0.50
情報収集のため、積極的に校内施設を利用するようにしている	2.79	3.26	0.47
d. レポート小論文などの文章技法について			
レポートと感想文の違いを理解している	3.22	4.04	0.82
文章構成に気をつけながらレポートを書くことができる	2.69	3.45	0.76
レポート作成の手順を理解している	2.40	3.52	1.11
情報収集で得た材料を整理してレポートを書くことができる	2.66	3.54	0.88
分かりやすい文章を書くよう心がけている	3.56	3.93	0.37

※ 網掛けは授業前後の差が0.5以上あるもの

表3. 「初年次ゼミ」授業前後の自己評価

質問項目	授業前 平均	授業後 平均	教育前後 の差
a. 大学生活について			
高校生活との違いを理解している	4.50	4.55	0.05
大学生活が充実するよう心がけている	4.29	4.07	-0.23
大学生活での具体的な目標がある	4.16	3.98	-0.19
目標に向けて具体的に行動している	3.71	3.58	-0.13
時間管理の重要性を理解している	4.29	4.10	-0.19
有効な時間の使い方を心がけている	3.81	3.70	-0.11
自分なりの学習習慣がある	3.11	3.17	0.06
学科をこえて、人間関係を築いている	3.22	3.38	0.16
大学での学びが社会とつながっていることを理解している	4.14	3.99	-0.15
b. ノートテイキングやリーディングについて			
自分なりに工夫してノートを作っている	3.46	3.47	0.01
講義中は要点をつかんでノートを取ることができる	3.21	3.27	0.06
リーディングについての基本的なスキルを理解している	3.16	3.27	0.10
話の中心を把握して文章を読むことができる	3.28	3.38	0.10
c. 情報収集について			
積極的に情報を得るよう心がけている	3.44	3.58	0.14
様々な情報収集の方法を知っている	3.20	3.68	0.48
情報収集のため、積極的に校内施設を利用するようにしている	2.70	3.03	0.33
d. レポート小論文などの文章技法について			
レポートと感想文の違いを理解している	3.40	4.03	0.64
文章構成に気をつけながらレポートを書くことができる	2.80	3.44	0.64
レポート作成の手順を理解している	2.54	3.51	0.97
情報収集で得た材料を整理してレポートを書くことができる	2.83	3.50	0.67
分かりやすい文章を書くよう心がけている	3.56	3.77	0.20
e. プレゼンテーションの基礎技法について			
プレゼンテーションの基本的なスキルを理解している	2.73	3.49	0.76
聞き手を意識した内容になるよう心がけている	3.14	3.58	0.44
効果的なプレゼンとなるように、全体の構成を工夫できる	2.85	3.31	0.46
プレゼンでは話し方、視線、姿勢などに注意することの大切さを理解している	3.62	3.82	0.20

表4. 「自己と社会・地域論」授業前後の自己評価

質問項目	授業前 平均	授業後 平均	教育前後 の差
a. あなた自身について			
自分に自信がある	2.33	2.57	0.24
少なくとも人並みには価値のある人間である	2.95	3.13	0.18
いろいろな良い素質をもっている	2.87	2.99	0.12
敗北者(はいぼくしゃ)だと思ふことがよくある※	3.06	3.14	0.09
物事を人並みにうまくやれる	3.05	3.19	0.14
自分には自慢できることがあまりない※	2.72	2.80	0.08
自分に対して肯定的である	2.89	3.02	0.14
大体において自分に満足している	2.59	2.80	0.21
自分が全くだめな人間だと思ふことがよくある※	2.87	2.86	0.00
何かにつけて自分は役に立たない人間だと思ふ※	3.03	3.00	-0.03
大事な話の途中で口を挟(はさ)まれたら、話が終わるまで待ってくれるように言う	2.44	2.54	0.09
友達に頼み事をしたいときには率直に言う	3.61	3.59	-0.01
好きな人には率直に愛情や好意を示す	3.25	3.41	0.15
友達のいいところを見つけたら率直に誉(ほ)める	3.79	3.82	0.03
少人数の話し合いの場で進んで意見を述べる	2.99	3.10	0.10
好意を持った相手には自分から話しかける	3.14	3.26	0.13
他人から誤解(ごかい)されたら、誤解(ごかい)が解けるように話をする	3.54	3.61	0.07
自分に分からないことがあれば、説明を求める	3.56	3.62	0.06
b. 地場産業について			
徳島県の地場産業が何か知っている	2.68	3.27	0.59
徳島県の地場産業の特徴を知っている	2.39	3.10	0.71
徳島県の地場産業の成り立ちを知っている	2.09	2.82	0.73
徳島県の地場産業についてもっと学んでみたい	2.74	3.19	0.45
c. 地域活動について			
個人や団体、企業が、地域の中で支え合うことの大切さを理解している	3.63	3.86	0.23
個人や団体、企業が、実際に進めている具体的な地域活動の例を知っている	2.69	3.26	0.57
個人や団体、企業が、実際に進めている地域活動をもっと学んでみたい	3.05	3.38	0.33
個人や団体、企業が、実際に進めている地域活動に参加したい	2.98	3.35	0.37
様々な立場の人が協調しながら、地域づくりを進めることの大切さを理解している	3.44	3.73	0.29
d. 企業・組織の仕組みについて			
NPOとは何か知っている	2.87	3.21	0.34
NPOが地域社会で果たす役割について説明することができる	2.17	2.75	0.58
地域社会における企業の役割について説明することができる	2.16	2.82	0.66
組織のライン部門とスタッフ部門の違いを知っている	1.99	2.90	0.91
e. グループディスカッションについて			
メンバーが守るべきマナーについて理解している	3.38	3.79	0.41
意見をまとめて結論を導き出すための方法を知っている	2.82	3.35	0.53

※は逆転項目のため、得点を逆転させている

表5. 「初年次ゼミII」授業前後の自己評価

質問項目	授業前 平均	授業後 平均	教育前後 の差
a. プレゼンテーションやディスカッション、ディベートについて			
プレゼンテーションの基本的な方法を知っている	2.79	3.92	1.13
説得力を持った発表ができるよう意識している	3.04	3.75	0.71
聞き手を意識して発表する大切さを理解している	3.56	4.07	0.52
聞き手を意識した発表ができる	2.76	3.34	0.58
人が発表している時は、協力的に聞くようにしている	4.21	4.36	0.14
ディスカッションやディベートの基本的ルールを知っている	2.71	3.73	1.03
ディスカッションやディベートに積極的に参加できる	2.68	3.31	0.63
b. グループワークについて			
メンバーと協力することの大切さを理解している	4.14	4.30	0.17
メンバーと協力してグループ活動に取り組める	3.81	3.95	0.14
グループの中で、自分の役割を持つことの大切さを理解している	3.73	4.03	0.30
異なる意見を持つ相手とも、互いに納得できるように話し合うことの大切さを知っている	3.93	4.11	0.18
異なる意見を持つ相手とも、互いに納得できるように話し合うことができる	3.40	3.73	0.33
グループの中で、共通理解を得ることの大切さを理解している	3.89	4.15	0.26
グループの中で、共通理解が得られるようにしている	3.45	3.84	0.39
c. 情報の扱い方について			
自分なりの情報の収集方法がある	3.41	3.77	0.37
自分なりの情報の整理法がある	3.23	3.54	0.32
図や表から情報を読み取ることができる	3.42	3.67	0.25
図や表の種類に応じた活用方法を知っている	3.11	3.46	0.35
d. あなたが考える将来について			
自分の将来像をイメージできる	3.02	3.28	0.26
卒業後の進路として、どのようなものがあるのかイメージできる	3.37	3.55	0.18
理想の自分に近づくための計画を立てることの大切さを理解している	3.76	3.95	0.19
理想の自分に近づくための具体的な計画を立てている	2.96	3.17	0.21
自分の将来のために必要となる、具体的な行動を知っている	3.14	3.40	0.26